

Ubiquitous Solution Company


KDDI CORPORATION



2006年3月期 第3四半期決算資料

2006年1月24日

代表取締役社長 兼 会長 小野寺 正



この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1.1. 決算総括(1-3Q累計)

1 連結ベース

▶ 移動通信事業 (au + ツーカー) は引続き好調であり、固定通信事業の減収を吸収し、売上は対前年同期比+1.6%、営業利益は同+6.2%の増収・増益。

2 移動通信事業 (au + ツーカー)

▶ 売上対前年同期比+7.5%、営業利益同+30.7%の増収・増益。

▶ 12月末累計シェア27.4% (au: 23.9%、ツーカー: 3.5%) に対し、1-3Q累計の純増シェア49.2% (au: 63.8%、ツーカー: -14.6%) でトップと引続き好調。

▶ auのWIN契約者は12月末675万と着実に増加。うち、定額制契約率81%。

▶ ツーカーのauへの同番移行はスムーズに進捗し、3Qに35万。

3 固定通信事業

▶ メタルプラス拡販等により、営業利益は 438億円に。

▶ メタルプラスは着実なエリア拡大に伴い、3Qに開通が加速。12月末117万回線開通。

▶ パワードコムを合併(1月1日付)。

4 その他

▶ FMCの推進を図るべく、新たにコンシューマ事業統轄本部とソリューション事業統轄本部を設置(12月1日付)。

1.2. 2006年3月期の業績見通し(1)

期初予想 今回予想(増減)

1 連結ベースでは、新たにツーカーのauへの同番移行やパワードコム合併の影響を折込み。移動通信事業の好調により、メタルプラスの開通遅れに伴う固定通信事業での減益をカバーし、期初予想の営業利益を堅持。

▶ 売上	: 29,760億円	30,410億円 (+ 650億円)
営業利益	: 2,890億円	2,890億円 (- 億円)
	- うち 移動通信事業 :	(+ 210億円)
	- 固定通信事業 :	(210億円)

▶ 主な理由

✓au ARPU	: 6,810円	7,000円 (+ 190円)
✓移動通信事業累計契約数	: 2,503万	2,528万 (+ 25万)
✓ツーカー同番移行数	: -	70万 (+ 70万)
✓メタルプラス累計契約数	: 220万	170万 (50万)

(注) 数値はセグメント表示があるものを除き、全て連結ベース。

1.2. 2006年3月期の業績見通し(2)

期初予想 今回予想(増減)

2 当期純利益は、ツーカーのPDC設備等の減損損失の計上を見込むが、パワードコムとの合併による法人税等の軽減を見込み、1,870億円で変更なし。

▶ 主な理由

✓ ツーカーのPDC設備の減損損失	: 約	900億円
✓ <u>固定系国内伝送路(情報BOXケーブル)の減損損失等</u>	: 約	100億円
税効果(40%)考慮後	: 約	600億円

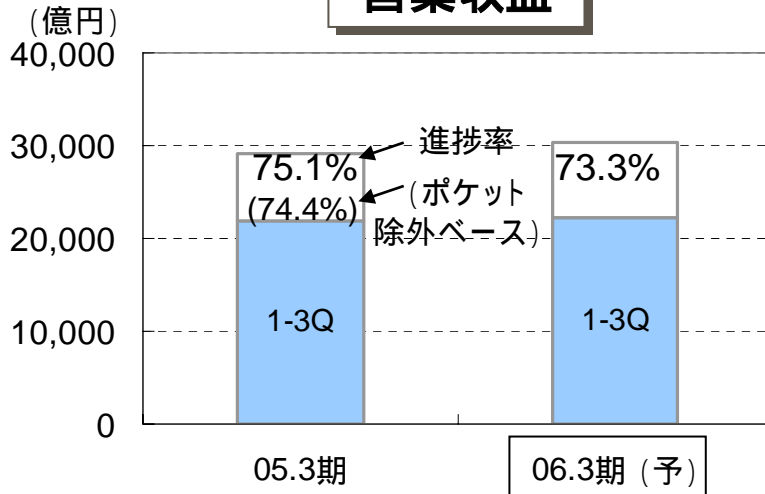
✓パワードコムとの合併による法人税等及び法人税等調整額の軽減分:約 600億円

(備考)当面ツーカーの端末販売も継続。顧客の移行状況を見ながら、PDCシステムの廃止時期は別途検討。

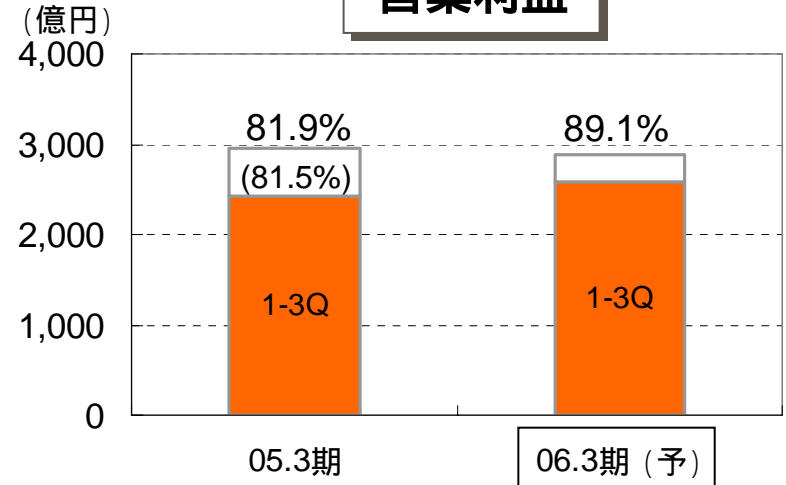
3 設備投資の見通しは4,400億円で変更なし。

2. 連結決算

営業収益



営業利益



(億円)

(参考) 05.3期のポケット除外ベース

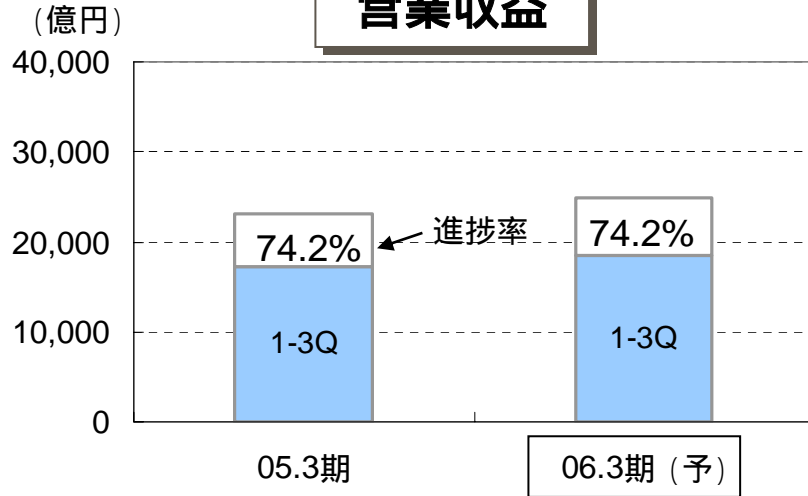
	05.3期		06.3期(予)				06.3期 前回予想
	1-3Q		1-3Q	対前年同期比	進捗率	今回予想	
営業収益	21,943	29,200	22,302	1.6%	73.3%	30,410	29,760
営業利益	2,425	2,962	2,576	6.2%	89.1%	2,890	2,890
マージン	11.1%	10.1%	11.6%	-	-	9.5%	9.7%
経常利益	2,356	2,863	2,559	8.6%	89.2%	2,870	2,870
当期純利益	1,541	2,006	1,580	2.5%	-	1,870	1,870
FCF	4,103	4,022	1,681	-59.0%	-	1,130	430
EBITDA	5,168	6,643	5,108	-1.1%	78.7%	6,490	6,430
マージン	23.6%	22.7%	22.9%	-	-	21.3%	21.6%

05.3期	06.3期
1-3Q	対前年同期比
21,074	5.8%
2,370	8.7%
11.2%	-
2,307	10.9%
1,225	29.0%
2,067	-18.7%
4,922	3.8%
23.4%	-

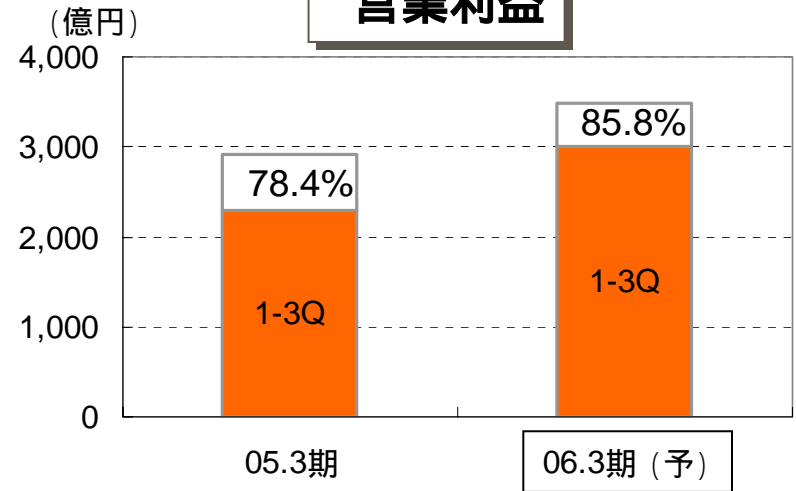
(注) 05.3期のポケット除外ベースは、PHS事業の上期実績と譲渡損益を連結から除外したものの。

3. 移動通信事業 / au + ツーカー (PDC)

営業収益



営業利益



(億円)

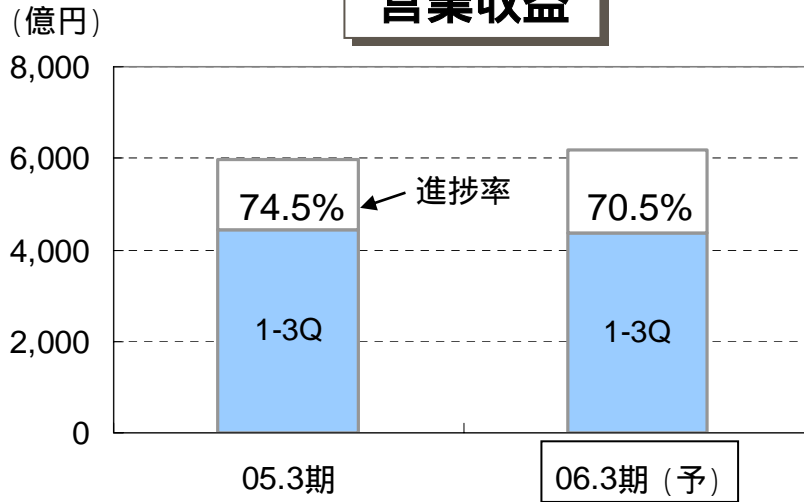
	05.3期		06.3期(予)			06.3期 前回予想
	1-3Q		1-3Q	進捗率	今回予想	
営業収益	17,165	23,125	18,457	74.2%	24,860	-
au	15,429	20,859	17,041	-	-	22,450
ツーカー	1,736	2,266	1,416	-	-	2,040
営業利益	2,293	2,923	2,996	85.8%	3,490	3,280
マージン	13.4%	12.6%	16.2%	-	14.0%	-
経常利益	2,233	2,851	2,981	85.9%	3,470	3,260
当期純利益	1,318	1,717	1,799	-	1,590	1,940
FCF	1,680	1,906	2,336	-	2,510	1,600
EBITDA	4,201	5,489	4,836	80.3%	6,020	5,780
マージン	24.5%	23.7%	26.2%	-	24.2%	-

	05.3期		06.3期(予)		06.3期 前回予想
	3Q		3Q	今回予想	
契約数(千)	22,359	23,132	24,695	25,280	25,030
内モジュール系	452	487	567	590	610
au 計	18,759	19,542	21,571	22,610	21,540
WIN(EV-DO)	2,032	3,252	6,750	8,180	7,660
1X	14,797	14,683	13,833	-	-
cdmaOne	1,930	1,608	987	-	-
ツーカー(PDC)	3,600	3,590	3,125	2,670	3,490

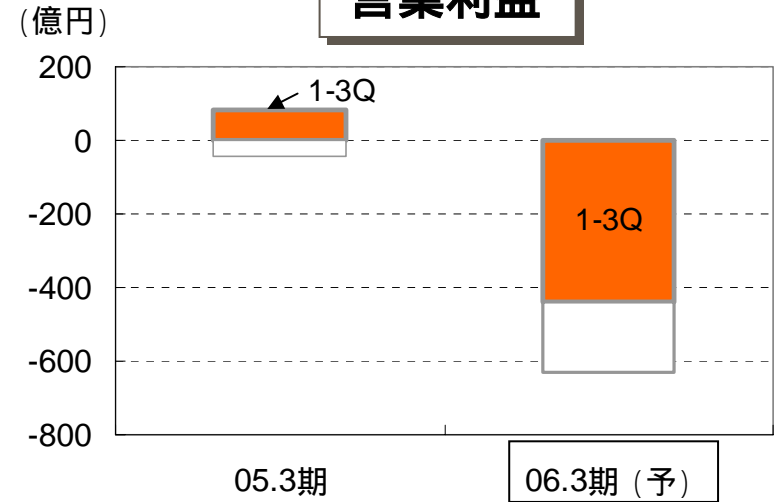
(注) 06.3期前回予想の営業収益は移動通信セグメント内の連結消去前の数値。

4. 固定通信事業

営業収益



営業利益



進捗率は、通期マイナスのため、N.A.

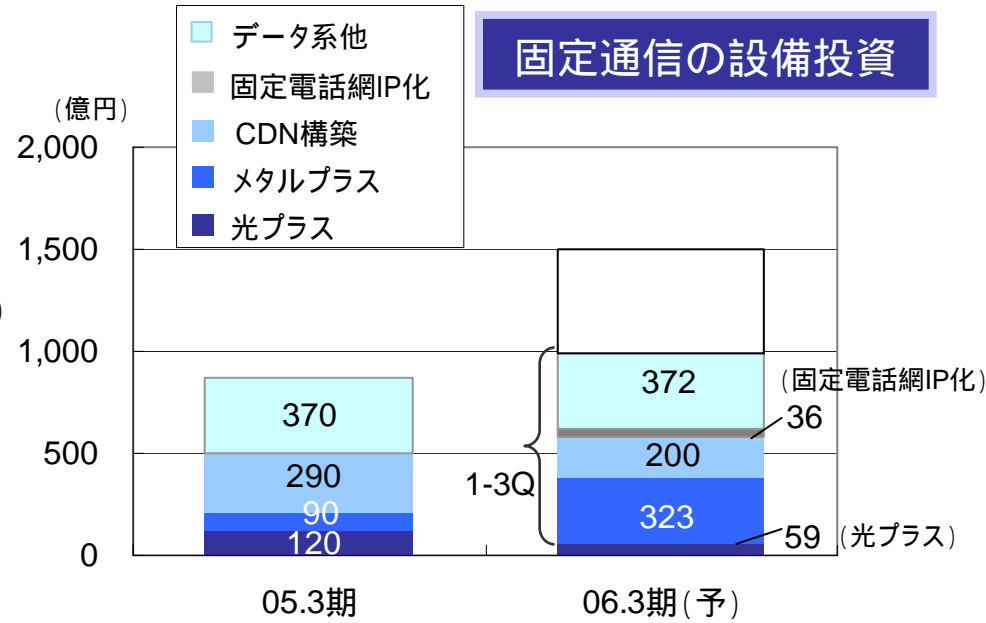
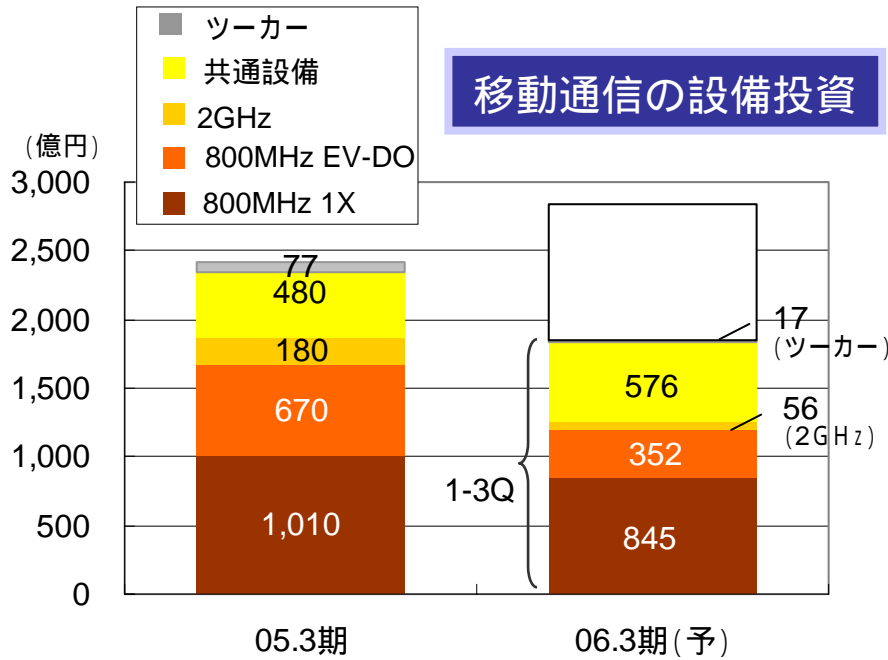
(億円)

	05.3期		06.3期(予)			06.3期 前回予想
	1-3Q		1-3Q	進捗率	今回予想	
営業収益	4,439	5,960	4,358	70.5%	6,180	6,120
営業利益	83	-3	-438	-	-630	-420
マージン	1.9%	-0.1%	-10.1%	-	-10.2%	-6.9%
経常利益	91	-4	-438	-	-640	-430
当期純利益	-32	-44	-228	-	160	-220
FCF	348	-31	-690	-	-1,380	-1,140
EBITDA	691	875	228	57.0%	400	590
マージン	15.6%	14.7%	5.2%	-	6.5%	9.6%

	05.3期		06.3期(予)		06.3期 前回予想
	3Q		3Q	今回予想	
DION (千) ^(注)	2,874	2,885	2,848	2,850	2,880
ADSL	1,497	1,494	1,510	1,500	1,500
FTTH (千)	78	91	156	180	180
光プラス	61	79	153	-	-
メタルプラス (千)	0	41	1,165	1,700	2,200

(注) 光プラスでのDION契約を05.3期末より、DION契約数に反映。

5. 設備投資等



		05.3期		06.3期(予)			06.3期 前回予想
		1-3Q		1-3Q	進捗率	今回予想	
設備投資(支払)	連結	2,000	3,424	2,874	65.3%	4,400	4,400
	移動通信	1,553	2,412	1,847	65.0%	2,840	2,840
	au	1,494	2,335	1,830	65.4%	2,800	2,800
	ツーカー	59	77	17	42.5%	40	40
	固定通信	337	866	991	66.0%	1,500	1,500
減価償却費	連結	2,651	3,499	2,470	73.3%	3,370	3,350
	移動通信	1,854	2,483	1,803	75.4%	2,390	2,400
	au	1,503	2,017	-	-	-	2,010
	ツーカー	351	466	-	-	-	390
	固定通信	576	787	641	68.2%	940	920

各事業の状況

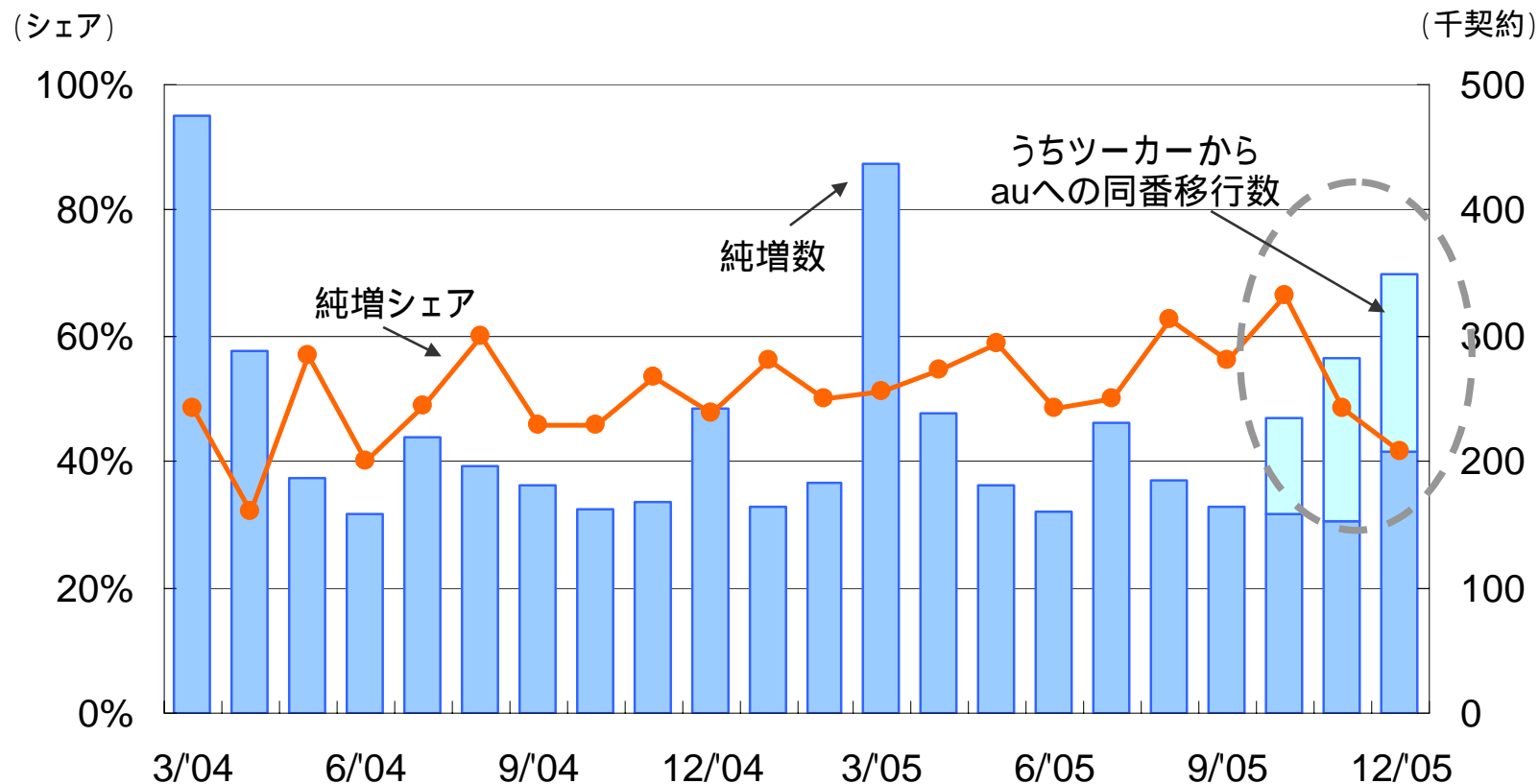
移動通信事業

au / ツーカー(PDC)

固定通信事業

全社的取組み

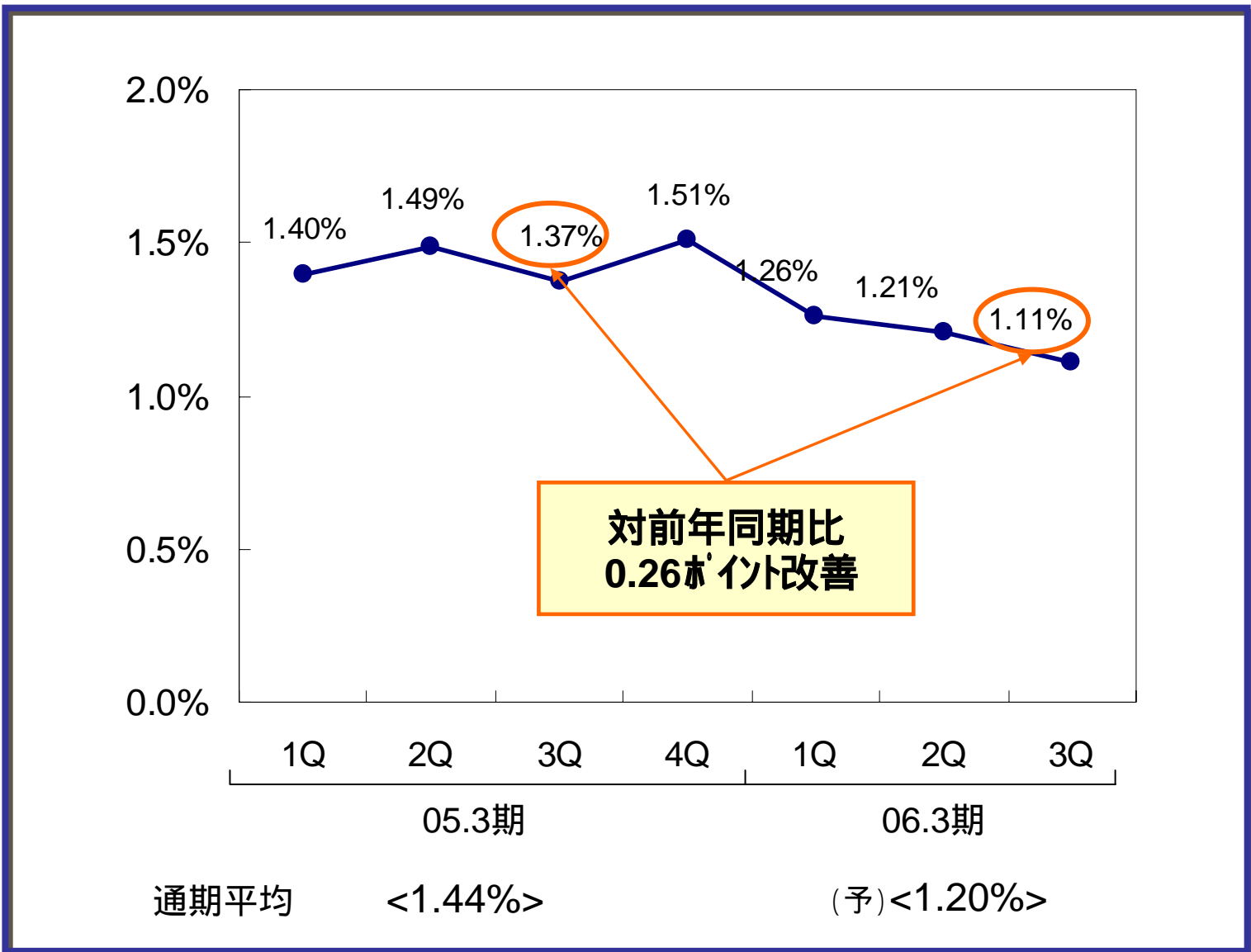
1.1. 純増



*グラフ上、純増シェアはツーカーの影響を除外

	05.3期/通期	06.3期/1-3Q累計
純増シェア	<50.4%>	<63.8%>
累計シェア	<22.5%>	<23.9%>

1.2. 解約率

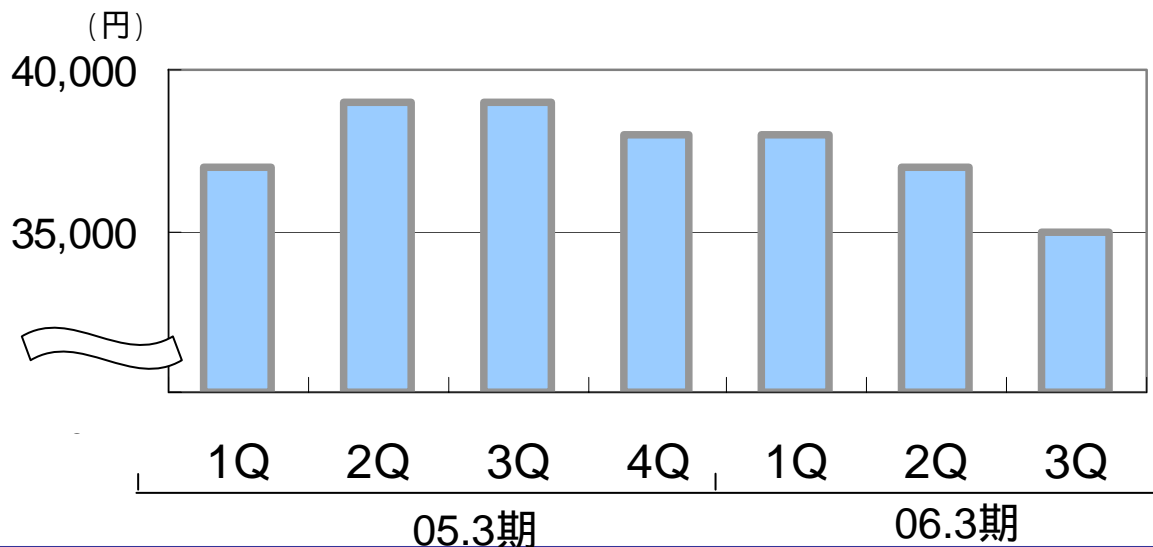


(注) 解約率はモジュール系を除く。

1.3. 販売コミッション

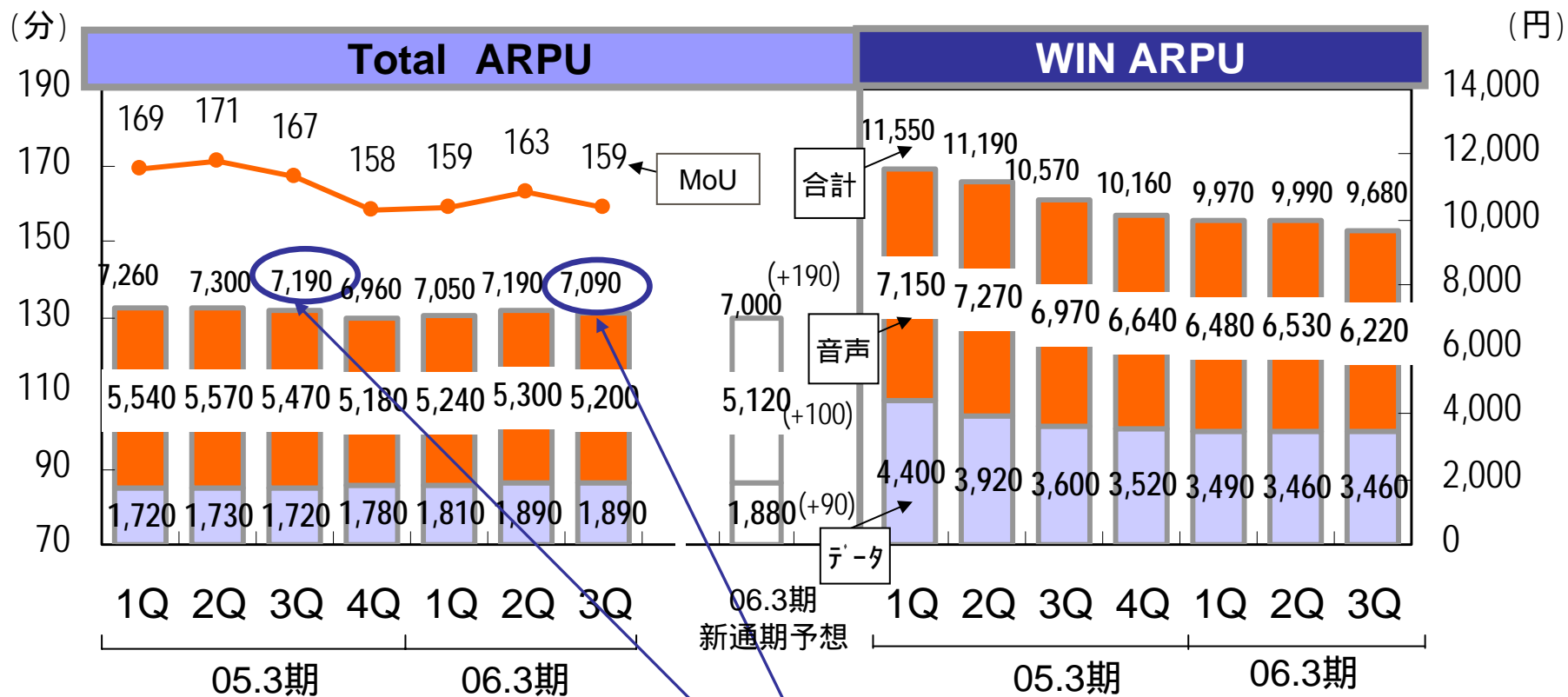
コミッション平均単価*

*新規、機種変更



	05.3期					06.3期(予)			今回予想	06.3期 前回予想
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q		
販売コミッション総額 (億円)	940	1,140	1,120	1,240	4,440	1,020	1,190	1,190	4,880	4,570
コミッション平均単価(円)	37,000	39,000	39,000	38,000	38,000	38,000	37,000	35,000	37,000	38,000
販売台数(万台)	255	293	287	323	1,159	270	322	337	1,312	1,210

1.4. ARPUの推移



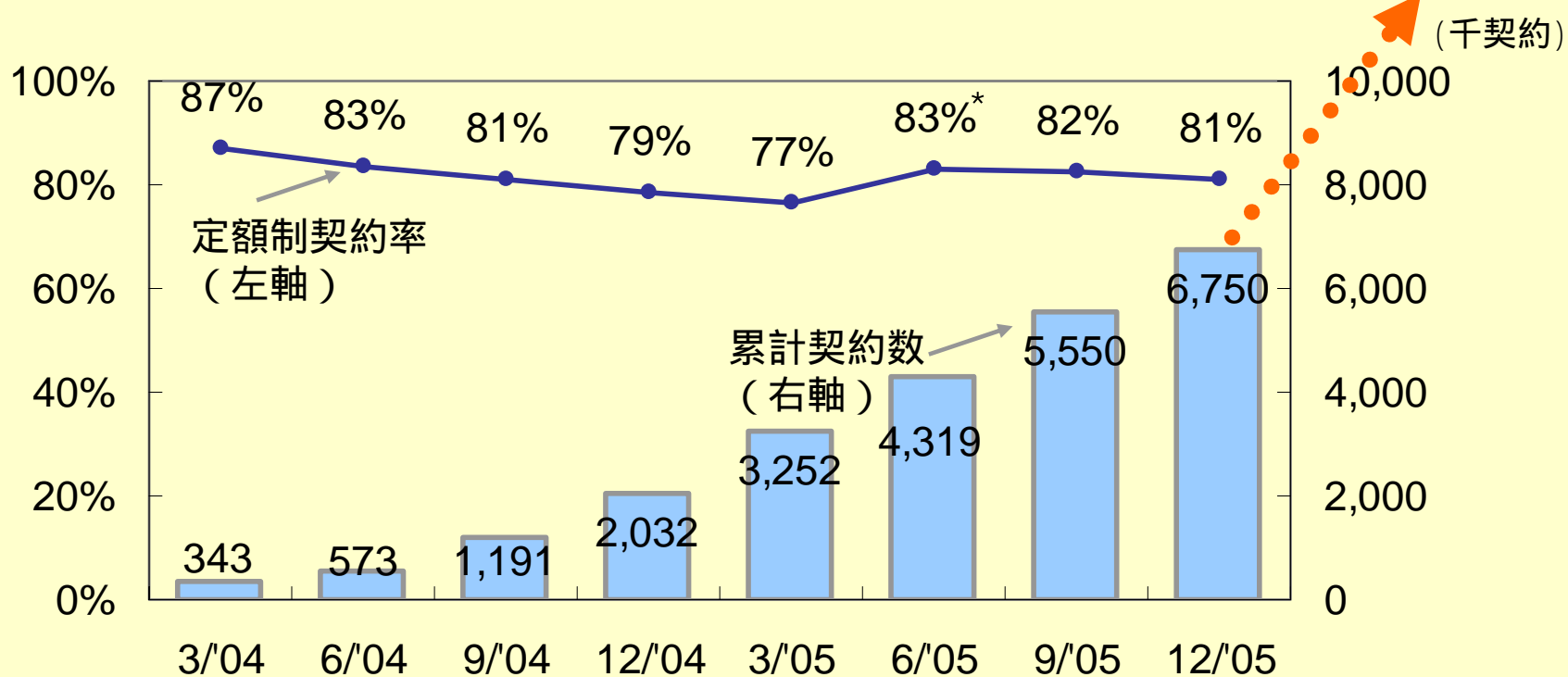
通期平均 <7,170円>
うち 音声 <5,430円>
データ <1,740円>

対前年同期比
合計 100円 (1.4%)
音声 270円 (4.9%)
データ + 170円 (+ 9.9%)

2. WINの状況(1)

05.5月のダブル定額ライト開始により、さらに幅広い層を定額制に取り込みつつある。

WIN及び定額制契約者の伸び

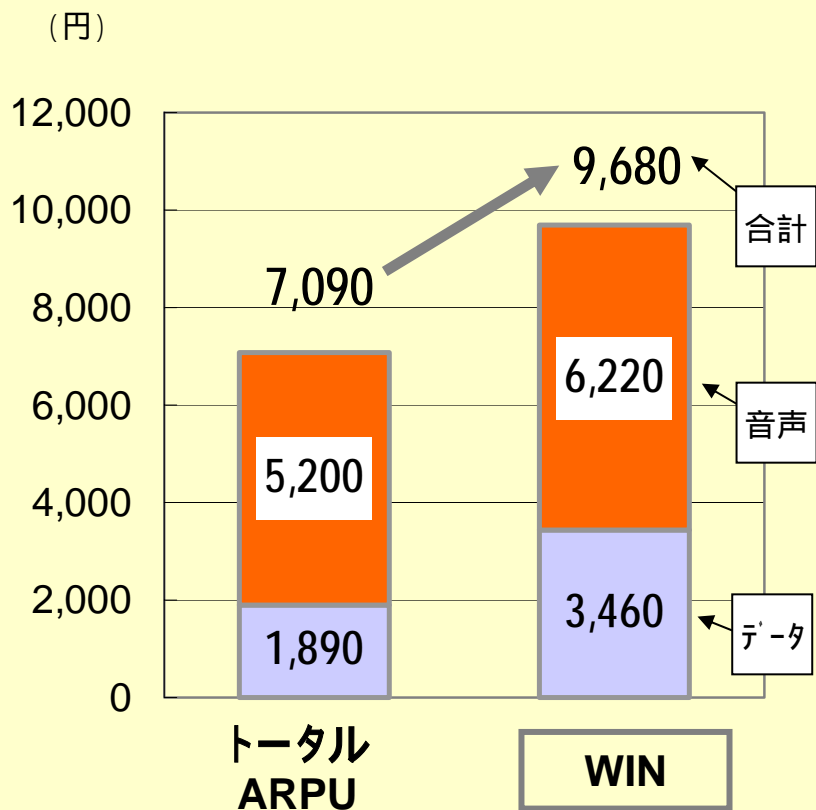


(注)ダブル定額ライト開始に伴い、05.6月末以降の定額制契約率は、ダブル定額ライトを含む。
05.3月末の旧パケ割WIN契約率(05.5月以降自動的にダブル定額ライトに移行)は6%。

2. WINの状況(2)

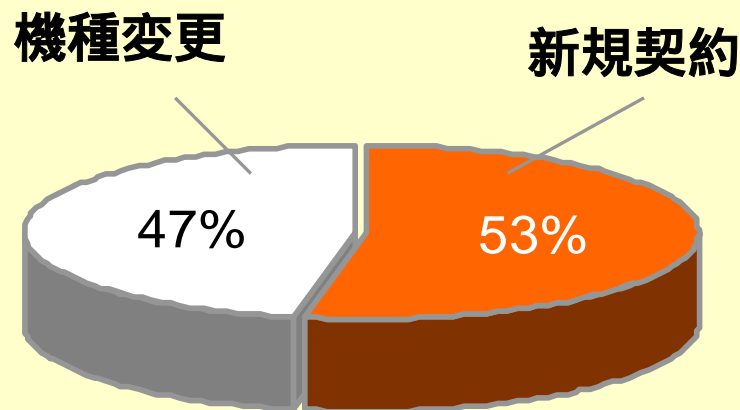
新規契約の割合は約半分と、WINにより引続き他社ハイエンド層を獲得。

ARPU



(注) 06.3期 / 3QのARPU。

WINの契約者構成比

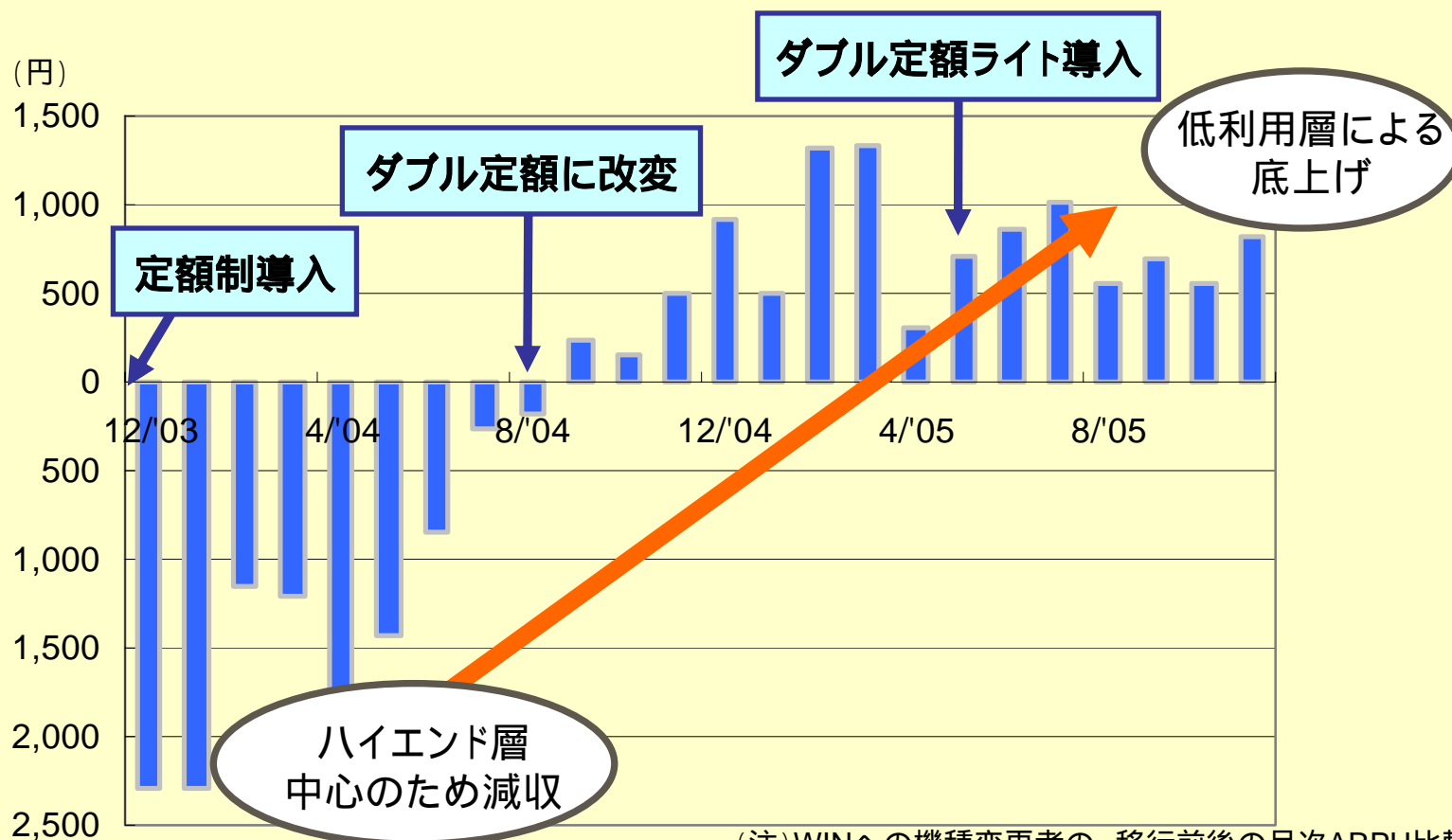


(注) 06.3期 / 3Qの契約者の単純累計の割合。

2. WINの状況(3)

初期はデータハイエンド層の定額制移行による影響が見られたが、ダブル定額導入以降、WINシフト後のARPUが上昇傾向に。

1X WINのARPU増減



(注)WINへの機種変更者の、移行前後の月次ARPU比較。

3. 総合的な商品力の強化

伝送能力、コスト競争力等インフラの強みにより、端末、料金、コンテンツの総合的な商品力強化による差別化を図る。

端末



料金

ダブル定額

ダブル定額 ライト

PCSV定額化

コンテンツ&アプリケーション



インフラ

cdmaOne

1998年

CDMA2000
1x

2002年

1xEV-DO
(Rev.0)

2003年

CDMA 1X

WIN

1xEV-DO
Rev.A

2006年中に導入予定

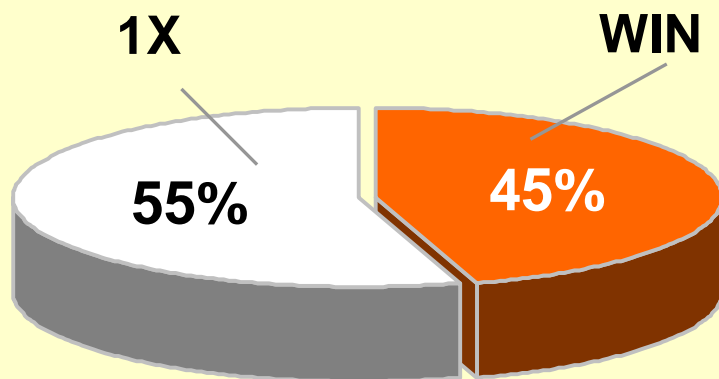
Evolution

4. ツーカーのauへの初期移行状況

MNP導入前であっても、ツーカーユーザのauへの同番移行(ツーカー解約、au新規契約)を可能とし、auへの円滑な移行をサポート。

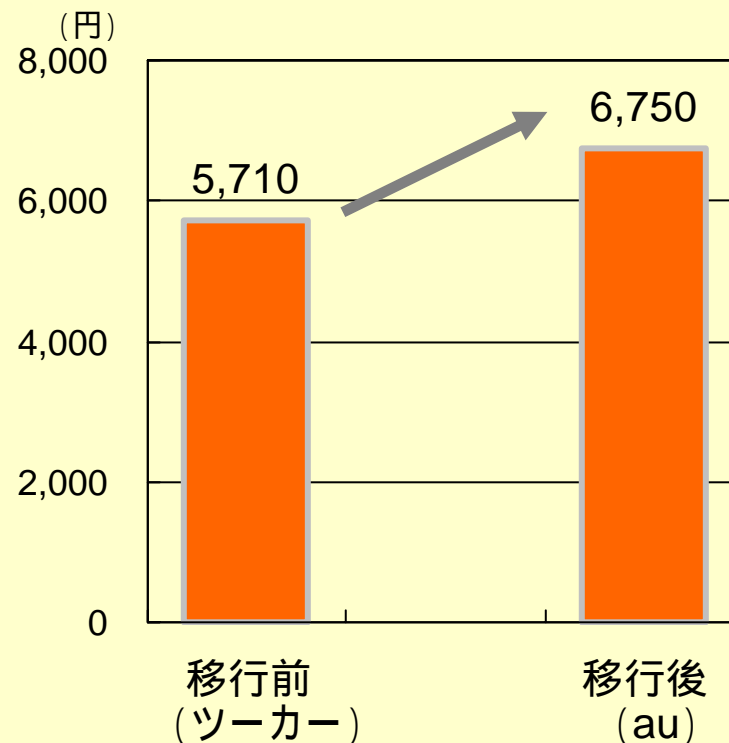
初期移行者については、WINへの移行が約半分、ARPUも上昇。

1XとWINの契約者構成比



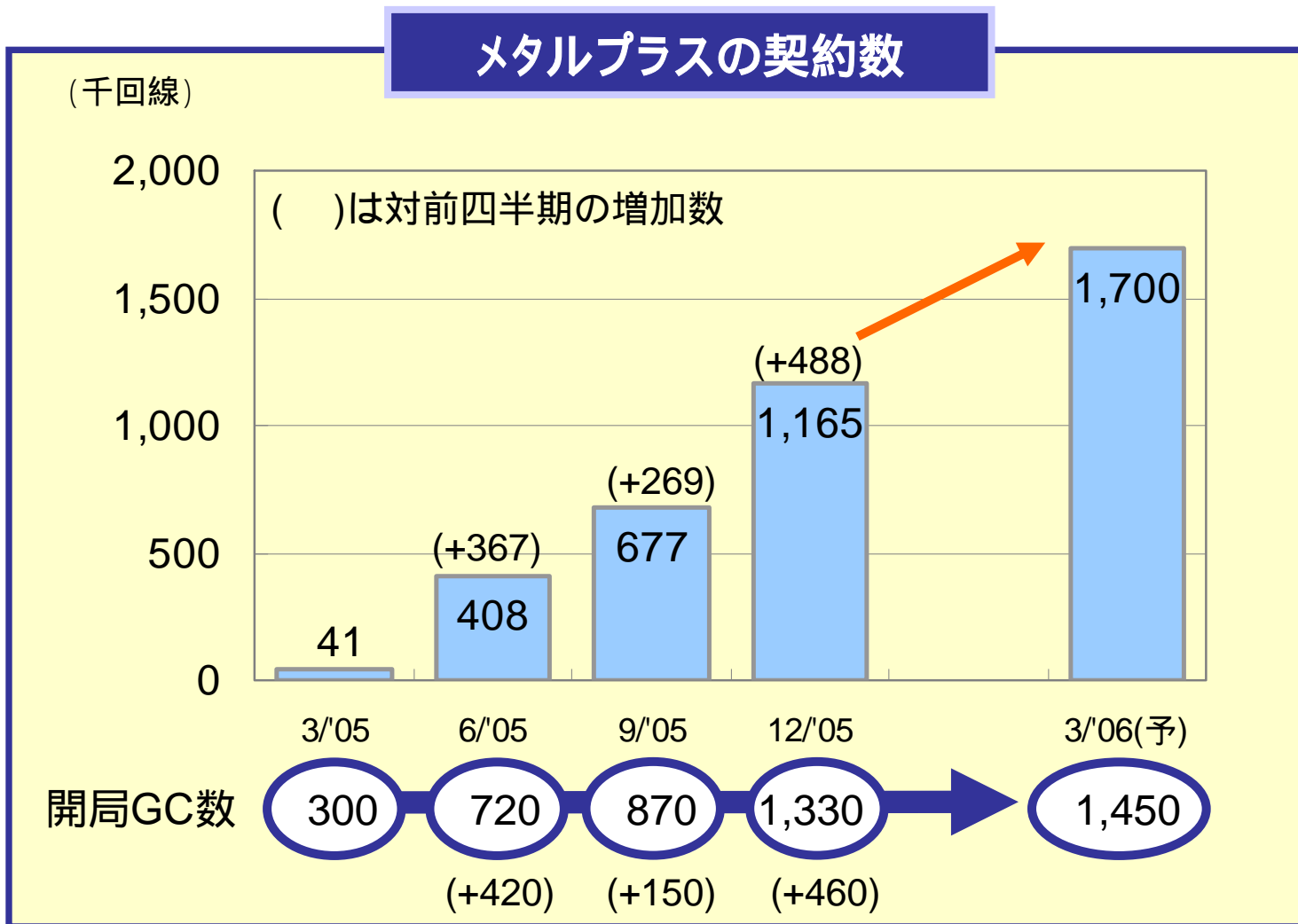
(注)06.3期 / 3Q同番移行者の単純累計の割合。

ARPU比較



(注)10-11月同番移行者の移行前後の月次ARPU比較。

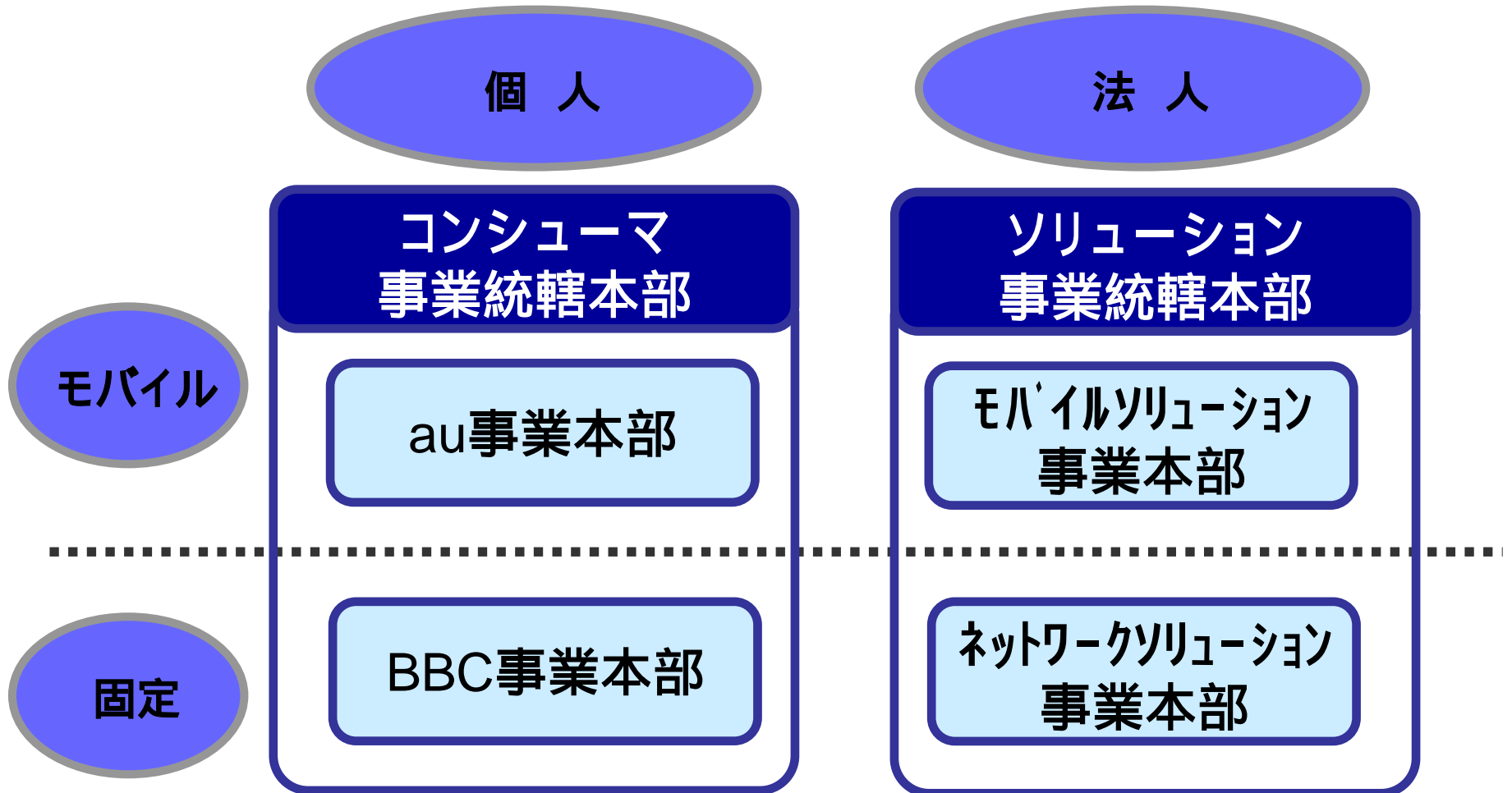
着実なエリア開通に伴い、3Qに開通が加速。12月末117万回線開通。



事業体制の再編

2005.12.1. ~

FMCの推進を図るべく、コンシューマ事業統轄本部とソリューション事業統轄本部を設置。



Ubiquitous Solution Company

